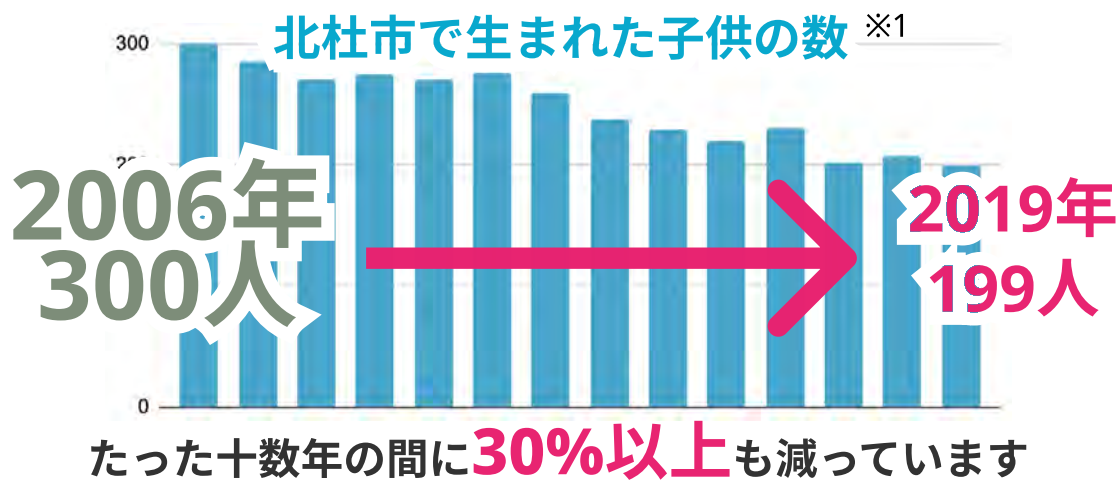


# 北杜市で子育て中のみなさま 知っていますか？



その結果、産婦人科は0、小児夜間休日救急病院は0。小中学校の統廃合は当然のように議論されるなど、子育て環境は悪化の一途を辿っています。



みなさまの子どもが大人になったとき、北杜市は子育て出来る場所ではないかもしれません。未来の北杜市に子どもを安心して産み・育てるインフラは整っていないかもしれません。子どもの医療環境はないかもしれません。保育園や学校は広い市内に数えるほどしかないかもしれません。

※1 参照元：平成17~平成31年度 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

## 拍車がかかる市政の高齢化

北杜市での出産や子育てのための予算を決めるのは、市長と市議会によって行われます。



**現市長は73歳、市議会の平均年齢は63.9歳**と高齢化が進んでいるのが現状です。年々アップデートされる子育て環境を把握し、施策に反映することが出来るのでしょうか？そんな彼らに未来の子育てを手放しで委ねることは出来るのでしょうか？

北杜市には、子育て世代の声が届いていないかもしれません。  
みなで力を合わせて、北杜市の未来を一緒に作りませんか？



子どもの幸せ、子育て世代の幸せな社会実現に向けて

**池田やすみち**は本気で取り組みます！

## プロフィール

北杜市議会議員。妻と中学生の娘と高校生の息子、そして愛犬（柴犬）の4人と1匹家族。2020年、養育里親の認定取得。

会社員時代は外資系企業などで勤務。その後、東日本大震災をきっかけに政治の世界へ。2015年北杜市に移住。地域おこし協力隊として活動。2016年、北杜市にて市議会議員選挙に初出馬、初当選。



## これまでの取り組みと子育てへの想い

市議会では、子どもを取り巻く課題の解決に取り組んでまいりました。



学校給食が自校式からセンター式への変更により、料理の温度が冷めてしまう課題の改善。地域の食材への理解を深めるための給食の地産地消率向上に向けた取り組み。自ら学び、考える力を養うための子ども個々の学びに合わせた個性の伸ばす学習環境の推進などを提案しています。

1時間おきの夜泣き、妻と交代で乗り越えた乳幼児期。夜間診療に何度も駆け込んだ日々。子育ては行政や民間、そして周囲のサポートなしに乗り越えることは出来ませんでした。家族の多様化が進み、今後はより行政・民間・地域が一体となり、子育てを支えていくことが必要です。

**子育て現役世代として、池田やすみちは  
子どもが、子育て世代が幸せな社会を実現します！**

**みなさまの協力が必要です！**

池田やすみちは、子育て世帯の声を届けるために活動しています！  
生活でのお困り事やご意見を、公式LINEよりお寄せください！

池田やすみち  
公式LINE

